

一丁目一番地（後編）

市民病院群は、常勤医師の昼夜を分かつた献身的な仕事ぶりであらうじて持ちこたえていますが、先生方の疲弊感、加えて高齢化が危ぶまれています。焦燥感に追われるように、素人の私も医師探しに奔走しましたが、まさに取り付く島もない状態。途方に暮れつつ歩いてる中で出会えたのが外山千也氏（現南魚沼市病院事業管理者、前副市長）でした。

全国のへき地医療を支える大組織である公益社団法人 地域医療振興協会。（自治医科大学出身の医師が中心となって設立）すがる思いで医師派遣の懇願に訪れた私を、吉新理事長と共に対応されたのが当時常務理事の外山氏だったのです。

氏は過去に市民病院の経営相談をされていたこともあり、当地の事情に詳しく、何よりも医療困難地に対する熱意が伝わってきました。私からお願ひして市長付きのアドバイザーに。その後、驚くことに氏は協会の常務理事の要職を辞され、「一医師として素志である地域医療に貢献する」と南魚沼へ移住までされた。そして、私は

市長2期目のスタートと時を同じくして、氏を特命副市長に選任したのです。直後から始まった大混乱のコロナ対応では、最たるワクチン接種事業に、正に陣頭指揮に立っていただくことにもなりました。

市報6月1日号の（前編）で書いた入院病棟の一部閉鎖もありえた事態を回避できたのは、自治医科大学との「寄付講座」開設（本学所在の栃木県以外では全国初の例）による医師の着任によりですが、それも外山氏の獅子奮迅の活躍がなければ到底成せるものではなかったのです。

市は「骨太の方針」を定め、進むべきロードマップを示しました。寄付講座はその後、医師が増員され、念願だった心臓カテーテル診療もできるよう循環器内科を充実。基幹病院との役割分担をもとに地域包括ケア病棟を新設した今春から、病床稼働率は過去にない高さに。道半ばの魚沼の医療体制はやがて理想の姿になっていく。その道をようやく歩き出せた、そう信じています。

シリーズ 第111回

国際大学留学生

お国自慢コーナー ～ boast of my country ～

ジョージア レラ トプリアさん



私の国はこんなところ

ジョージアはコーカサス山脈に囲まれ、黒海に面したとても小さな国です。日本ほど有名な国ではありませんが、人類文明の歴史の中で、重要な位置を占めています。ジョージアが「ワイン発祥の地」であることを知っていますか？ 8,000年以上の歴史があります！ブドウを踏みつぶし、果皮と種を果汁と共に巨大な壺に入れ、途中で保存する伝統的製法が用いられています。

私はジョージアの遺産、文化、多様で美しい自然を誇りに思っています。冬の雪と夏の海を一度に楽しむような、それくらい楽しい体験がたくさんできますよ。



南魚沼市に住んで感じたこと

慣れ親しんだにぎやかな首都トビリシから、とても静かな南魚沼へやってきました。ここの静けさが大好きです。朝に山を見ると、1日分のエネルギーが充電できます。自然を楽しめる場所がたくさんあるのは魅力的です。水無溪谷のウォーキングイベントに友人たちと参加したときの、川と森の紅葉の美しい景色が目には焼き付いています。

編集後記

夏の風物詩でもある「兼続公まつり 大煙火大会」が7月18日（月・祝）に開催されます。残念ながら、お六流しや御神輿は行われず、お祭りに付き物の露店の出店もありませんが、3年ぶりとなる花火大会を楽しみたいと思います。また、各地域で花火大会が開催されますので、夜空に上がる花火の写真撮影に挑戦したいと思っています。（N.K）

今月の表紙

6月9日（木）、栃窪小学校の児童と越後上布技術保存協会により、苧麻畑の焼畑作業が行われました。焼畑は苧麻の成長をそろえ、害虫駆除や灰が肥料になる効果があります。暑い中、児童たちは保存協会のみなさんと手際よく作業をしていました。

市民の動き 令和4年5月末日現在 （ ）は対前月比

●人口 54,343人(-31) / 男26,593人(-14) 女27,750人(-17) ●世帯数 20,231戸(-4)